

---

# 宗教だよね～

ぽっくる

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

宗教だよね〜

### 【コード】

N0674G

### 【作者名】

ぼっくる

### 【あらすじ】

お笑い芸人の安男君はある日、男2人組に出会った。

僕の名前は安男。25歳のお笑い芸人です。

僕は今、とてもいい日々を送っています。

それはなぜかというと・・・1年前の出来事があったからです。

1年前・・・

ある日の日曜日、僕は家でテレビを見ていた。

すると、

「ドンドンドンドン」

と玄関の戸をたたく音が聞こえた。

安「はーい、今行きまーす」

戸をあけた。

そこには男が2人いた。

?「こんばんわー、安男君! 教の前川です!」

安「宗教ですか?僕は宗教なんかに興味はありません!!帰ってください!」

前「いや……今日がダメなら明日でも……」

ガチャ!!

ぼくは戸を閉めた。

次の日、またまたあの2人組みがきた。

前「こんばんわー!!安男君!!前川です!!」

安「帰ってくれ!!」

ガチャ!!

戸を閉めた。

それから毎日のようにあの二人は来た。

ある日、僕は

安「じゃあ……ちょっとだけですよ」

前「それじゃあ、この車に乗ってください」

そして、車に乗り込み、車は走った……。

15分後……

前「着きました。ここです」

安「ここ、公民館じゃないですか」

なんと、僕が着いたところは公民館だった。

前「まあ、入ってみて」

入ってみると、人が15人くらいいた。

前「みなさん、新入りの安男君です」

安「みなさんはじめましてえ〜〜……………あああああ!」

なんと目の前には同じお笑いの事務所の場下さんがいた。

場「ああ、あなたも入ったの。よろしくね」

そして、ここからが僕の幸せの日々が始まった……………。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0674g/>

---

宗教だよね～

2010年10月21日23時13分発行